

セミナー報告

第3回PICCプラクティショナーコースの
開催結果報告

杏林大学医学部 麻酔科学教室 教授
医療安全全国共同行動 技術支援部会委員 行動目標 3b 代表
医療安全調査機構 医療事故調査・支援センター 中心静脈穿刺合併症 専門分析部会員
日本医学シミュレーション学会 CVC 委員会 副委員長 徳嶺 譲芳



本年11月11日(土)に第3回PICCプラクティショナーコースを、日本医学シミュレーション学会、医療安全共同行動、カーディナルヘルス株式会社の共催で開催しました。セミナー後のアンケート結果では、受講して良かったとする回答の割合が多く、インストラクターとして心底ほっとしました(図1、図2)。

通常、新規のセミナーは、物珍しさもあり、初回の評価は高くなる傾向があります。このため、今回がPICCプラクティショナーコースの真の評価となる正念場になるだろうと考えていました。

第1回と第2回は、受講者の要望を正確に捉えることを重視しました。昔々、学校の成り立ちは、生徒=教わりたい人々が、教師を招いたことが始まりだったそうです。ですから教育で最も重要なのは、学びたいという目的意識です。このため、セミナーは、最初から成功が約束された学びの場であると思います。ことに、有料の場合は特に目的意識は高いはずです。しかしその反面、期待を

裏切った時は、激しい批判があることも覚悟しなければいけません。

では、ハンズオン・セミナーを成功させるにはどういった点が重要でしょうか？それは、学ぶ内容=学習内容の最適化でしょう。意欲がある受講者がいても、教育内容に興味をもてなかったら、意欲は半減します。このため、事前アンケートを丁寧に行い、受講者のニーズを正確に把握するよう努めました。以前にも書きましたが、セミナーは入口と出口を整えることが重要だと言われています。つまり、一つの教育コンテンツで、受講者の全てのニーズに対応するには、受講者のレベルを最初から合わせる必要があるという意味です。簡単にいうと、初心者のコースと熟練者のコースを一緒にしてはいけません。本コースは、この入り口を整えるという原則を守ることができませんでした。この型破りのセミナーでは、2つのコンテンツを無理やり合体させました。結果は、94%で指導内容に満足が得られましたが、時

本コースを受講していかがでしたでしょうか？
5段階評価 (5:良かった, 1:悪かった)

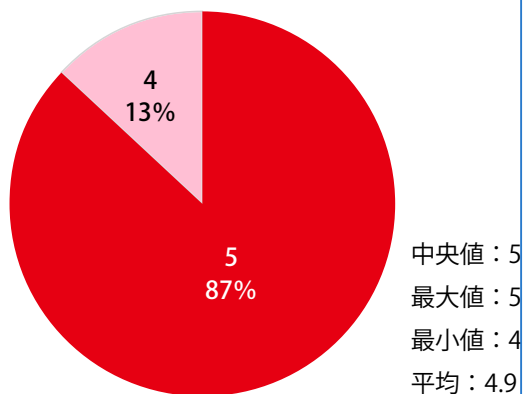


図1 コース受講後の評価

本コースで評価いただける点はございましたか？

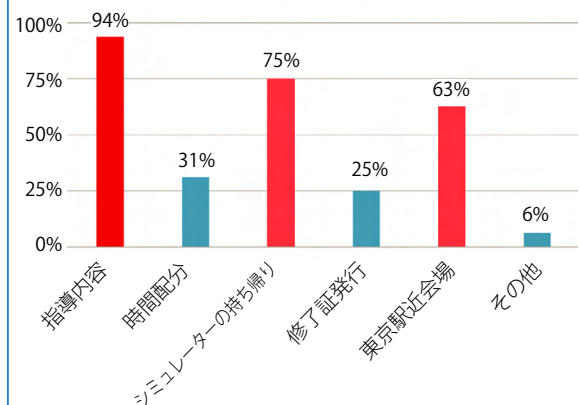


図2 コースの評価

間配分の評価は31%と低くなってしまいました。つまり、2時間30分に、教育内容をこれでもかと詰め込んだ結果が、高い満足度と低い時間配分の評価となったわけです。

実際のコンテンツのイメージは、「一度も超音波を使ったことがない受講生が、とりあえず超音波ガイド穿刺を行えるようになり、さらにその上を目指す」という感じです。基本手技のトレーニング中、熟練者には我慢してくれと頼んでいますが、実のところ、それは杞憂だったようです。つまり、熟練者は、それまで何となくセンスで行っていた技術に論理的背景があるということを知り、興味と驚きを持ってトレーニングに励んでくれたようなのです。技術の理論背景は、技術の習熟にとって重要です。一つの技術を高めるには、センスだけでは難しいからです。ここでいうセンスとは、空間把握能力や運針の巧緻性（器用に針を動かす技術）を指します。こういったセンスは、生まれながらのもので限界があります。限界を突破するには、論理的背景の理解が重要という話です。

今回、セミナーの最初に、「皆さんは、たった2時間半のハンズオン・トレーニングで、本当に上手くなると思いますか？」と質問しました。このドキリとする質問に対して、同意の挙手は、ほとんどありませんでした。しかし、私は、「ある技術を学ぶとき、何らかの障害が学習を阻むことがあります。その多くは、思い込みや心理的拒否といった心の問題であり、それさえ取り除けば、すんなり技術が向上することがあります。そして、そういった間違った思い込みが起きやすい技術の一つに、超音波ガイド下穿刺があります」と答えました。この回答が実は、このセミナーの真の狙いです。実を言うと、日本医学シミュレーション学会のホームページには、このセミナーのコンテンツを掲載しています（JAMS PICC Practitioner's guide. <http://jams.kenkyuukai.jp/special/?id=7184>）。ですから、本来ならセミナーを受講しなくとも自主学習できるはずですが、もちろん、セミナー受講者には、これを事前学習するように伝えていきます。しかし、それでも受講者の満足度に変わりはありません。それは、セミナーは教科書とは異なり、双方向性だからです。双方

向であるからこそ、思い込みを排除することが可能になります。それは、同じように勉強した2人の学生が、テストで異なる成績になったとします。実はそれは思い込みというフィルターを通して教科書を読んだためであるという理屈です。教える側は、どこにそういった障害が生じやすいかを、現場の雰囲気や察知する能力が必要です。私は、これを過去600回以上の超音波ガイド下中心静脈穿刺のハンズオン・セミナーで経験しました。それが、PICCに活かして幸いでした。

最後に、本セミナーの受講者のフリーコメントをそのまま原文で掲載します。セミナーの雰囲気を感じ取っていただけると嬉しいです。第1回および第2回のフリーコメントでは、多少批判的な内容もありました。それを、改善すべく努力しています。総括となる第3回で批判的なコメントがなかったのは幸いでした。

セミナー後アンケート

- 所属施設での医師ではわからないような詳細な部分、マニアックな部分まで疑問に答えて頂き非常に有意義でした。
- パートごとの説明と実施があったので、とてもわかりやすく今までよくわからなかった点も理解できました。
- 穿刺の角度の説明がていねいで理論的であった。事前の学習資料の案内が親切だった。
- 少人数制がよい。
- 自身の理解、苦手な分野を理解できた。
- 関西大阪での開催もぜひお願い致します。
- PICCによる合併症への不安が強かったが、多くの対扱法をきけて、少し、自信になった。
- 今回エコーの使い方について、学べたことで理解できた。
- 穿刺角度によっても到達部位が違うことも分かった。
- 何度もシミュレーターをしたので技術面で少し不安が解決できた。
- 受講したことで臨床上の疑問は解決したものの、実際に患者に施行してまた疑問が多くなると思います。大変有意義な時間でした。1日のコースがあればぜひ参加をしたいです。他のNPにもすすめます。

- レベルに応じたステップUP コースをお願いしたい（腕頭～上大静脈からの血管走行は挿入前評価として行っており、CTの見方は何となく理解できているので、その他の鎖骨下～上大静脈からの血管走行等講義項目としてプラスしていただけると助かります）。

(アンケートへの私のコメント)

マニアックな説明だったようですが、そこまで解説したのは、受講者の皆さんの要望ですので、致し方ありません。関西での開催はぜひ検討したいのですが、現状でも赤字のセミナーなので、当分は無理かと思います。すみません。1日コース、良いですね。ただし、私の体力が持てば良いのですが…。ステップUPコースも良いですね。ぜひ、やってみたいですが、当面はこのコースを安定させなければならないので、そのうち検討してみたいと思います。

さて、今回は、今年度最後となる第4回PICCプラクティショナーコースを第19回日本医学シミュレーション学会で開催します（次ページ参照）。開催地は、今回も東京（大田区産業プラザPiO）です。開催期間は2024年3月16日と17日で、計2回の開催予定です。受講に必要な料金は、学会参加費（メディカルスタッフの事前3,000円）+受講料5,000円の計8,000円です。つまり、通常受講料（12,000円）より4,000円もお安くなります。ただし、学会参加費は当日払うと5,000円ですので、ご注意ください（2,000円損します）。日本医学シミュレーション学会は、シミュレーション教育に特化した医学教育学会です。当日は、コースを見学する学会員もいると思いますが、ギャラリー対応のスタッフも配備しますので、通常開催と同様、集中してトレーニングを行えることでしょう。ご心配なく！

医療安全全国共同行動からのお知らせ

第19回 日本医学シミュレーション学会学術集会
日本医学シミュレーション学会 / 医療安全全国共同行動
第4回 PICC プラクティショナーコース

開催日時

2024年3月16日(土)

① 13:10 ~ 15:40

2024年3月17日(日)

② 12:20 ~ 14:50



少人数制ハンズオンセミナー

日時 2024年 **3月16日** (土) ① **13:10~15:40**

2024年 **3月17日** (日) ② **12:20~14:50**

会場 **大田区産業プラザ PiO 大展示ホール HS-2会場**

第19回 日本医学シミュレーション学会学術集会のプログラムとして実施

講師 **徳嶺 譲芳** 先生 (杏林大学 医学部 麻酔科学教室 教授)

対象 PICCの挿入を臨床で実施または今後実施する看護師

受講料 **5,000** 円(税込) *テキスト/修了証/当日使用した簡易シミュレーターをお持ち帰りいただけます

*学術集会の参加登録を別途お申込みいただく必要がございます

✓メディカルスタッフ (事前登録) 3,000円

募集人数 各 **8**人 (①3/16の回と②3/17の回) 合計 **16**人

申込期間 2023年 11月16日 (木) 9:00~ *定員になり次第、締切とさせていただきます



共催



特定非営利活動法人 **日本医学シミュレーション学会**



一般社団法人 **医療安全全国共同行動**



カーディナルヘルス株式会社

お申込URLなど 詳しくは医療安全全国共同行動ホームページで

<https://kyodokodo.jp/seminar/annai/picc20240316/>